

2021年9月14日

ベトナムの中秋節；2021年の月餅事情

ベトナムの中秋節は一年のうちの最も大事な行事のひとつです。今年の中秋節（旧暦8月15日）は新暦の9月21日にあたります。家族が集まり一緒に月餅を食べ、満月の下で子供たちが踊りお月見をしたりして楽しいひと時を過ごす「子供のテト」とも呼ばれるイベントです。昔からの伝統が今も守られているベトナムの中秋節ですが、先祖に対するお供え物として箱入りの月餅を用意することが恒例となっています。



ベトナム製菓メーカーの月餅

例年なら、都市部では中秋節の1か月半ほど前から各菓子メーカーが路面店の月餅販売ブースを設置します。Kinh Do（キン・ド）、Thu Huong（トゥー・フォン）、Huu Nghi（ヒュー・ギー）、Bao Ngoc（バオ・ゴック）など有名ブランドの月餅ブースが並び、通りは賑やかになりカラフルに彩られます。また、ハノイ市で有名な Bao Phuong（バオ・フォン）、Binh Chung（ビン・チュン）などの老舗月餅店には、早朝から夜まで長蛇の列ができます。

例年の菓子メーカー月餅販売ブース

例年なら老舗月餅店には行列ができます。。。



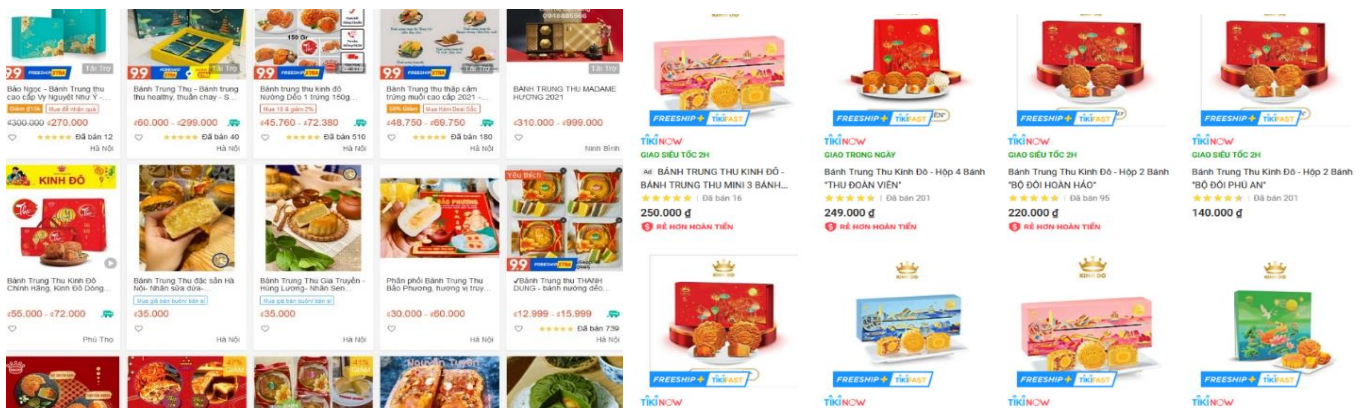
当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

ところが、2021 年は様相が一変しています。コロナ禍の影響で路面に月餅販売ブースの出店はみられません。今年は消費者が月餅を直接購入できるのは、スーパーマーケットや食料品店のネット販売システムなどです。

コロナの蔓延やコスト高などの煽りを受け多くのメーカーが生産を見合わせているため、今年の中秋節の月餅市場は例年に比べ閑散としています。生産休止の背景は、一部の菓子メーカーの従業員がコロナで隔離措置を受けていることや販売店が営業を一時的に停止していることなどです。また、収入減に苦しむ消費者にとって月餅はぜいたく品とみられ、買い控えがあることもその理由の一つとされています。

一方、今年は路面店などでの店頭販売以外のアプローチで月餅の生産継続を模索する動きもあります。菓子メーカー各社は、電子商取引サイトでの販売を促進し、注文に応じて生産しています。特に、メーカーは品質、デザイン、味わいに焦点を当てるだけでなく、魅力的なプロモーションも推進しています。e コマースプラットフォーム上で月餅をオンラインで購入する場合、購入者は価格の5～10%の割引を受けられます。多くのメーカーが月餅の詰め合わせを発売していて、その価格は約 10 万ドンから 100 万ドン（日本円換算で約 480～4,800 円）と個数、ブランド、種類によって幅があります。ベトナムの中秋節には欠かせないアイテムである月餅を顧客に提供するために、各菓子メーカーはビジネスのやり方を工夫し、現下の厳しい状況にうまく適応しているようです。



月餅 電子商取引サイト

【写真提供：CPVN】

<http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。